

KUMAGAKU Clean Water Project

熊本学園大付属高校ボート部「水環境への20年の取り組み」



火の国と称される熊本は水の国でもあります。



私たちが日常活動している江津湖は
1日40万トンの湧水量を誇る湖で、
熊本市民の憩いの場でもあります。



熊学ボート部の歴史も、江津湖でボート遊びをしていた
先輩方が作った同好会からスタートしました。
* 写真は熊学ボート部のルーツである「江藤ボートハウス」
のボートで遊ぶボート部員たち

公園として整備されている江津湖ですが、湖の周りにはたくさん湧水が湧き出ており、2016年の熊本地震の際は、水を求めて多くの方が艇庫近くにある湧水を汲みに来られました。



ちなみにこの湧水は熊学ボート部旧艇庫時代の井戸の跡です。

2016年4月 熊本地震後の様子

熊本のローイングの歴史は古く、
明治時代からこの恵まれた環境のもと
で多くのオアズマンが育ちました。



VIEW OF ET&U-LAKE KUMAMOTO

スーレトーボ湖津江 (景百本熊)

江津湖の現状

しかし、多くの恵みを与えてくれる江津湖ですが、近年では外来植物が大繁殖し、私たちの活動にも大きな影響を及ぼしています。



江津湖の恵まれた環境に感謝し、日常から清掃に励む



20年前、当時の高校3年生たち自らが企画・運営をし創設した新人レース（現在はココファームレガッタとして開催）に向けた準備をきっかけに、お世話になる江津湖への感謝の気持ちや熊本のフラッグシップクルーとしての誇りを持たせる一環として、日常の清掃活動や定期的な部員総出の江津湖清掃を行なってきました。今ではチームワークをさらに高める活動となっています



「日常」の輪を広げる

わたしたちの日常の活動が起点となり、活動の輪が広がっています。藻狩りの道具をいつでも使いやすい場所に設置するなど、誰もが当たり前前に清掃する環境が出来つつあります。



保護者の方々と

熊学艇友会（OB会）の方と

本校生徒会・ロータリークラブの方と

さらに地域の活性化へ～水環境問題を発信し、地元企業の方々とタイアップ



【江津湖】江津湖をもっと元気に！水草回収大作戦！ | 元気だけん！くまモン県プロジェクト



熊本学園大学付属高校水十部
カタオカさん

依頼

江津湖に増殖した
外来植物の藻刈りを手伝ってほしい

【江津湖】江津湖をもっと元気に！水草回収大作戦！ | 元気だけん！くまモン県プロジェクト

熊本県内では大規模な半導体工場の建設などもあり、熊本の地下水が問題となっています。そのような中、地元企業の方々と「水」環境を考える機会として、活動に取り組む機会も増えてきました。

超一流をめざせ



人に応援されるチーム、人に応援される選手をめざそう！がチームの合言葉。その一つとして、私たちには「水」の恵みに感謝し、「水」の大切さを伝える使命があると思います。これからもこの恵まれた環境を守りながら、さらなる高みを目指していききたいと思います。

